

自分自身に誇りを持ち、自他を尊重し、未来を切り拓く人間の育成

伊里中だより

夢の中へ

令和7年3月26日
備前市立伊里中学校

校 訓
自律・愛・創造

令和6年度無事に修了しました!! ありがとうございました!!

本日令和6年度の修了式を迎えました。この1年間生徒の皆さんは、勉強をはじめ、生徒会活動や部活動、学校行事等さまざまなことにがんばってきました。そして、伊里中学校を大いに盛り上げてくれました。そのような皆さんに一言。「本当によくがんばりました。お疲れ様でした。」みなさんのがんばりによって、伊里中の新たな歴史をつくることができました。本当にありがとう。明日からは10日間ほどの春休みになります。そして、4月7日の始業式から令和7年度が始まります。4月10日には入学式があり、新入生を迎えます。この春休みは、新年度に向けてしっかり準備をしてほしいと思います。



新入生1日体験入学

3月3日(月)5・6時間目に、伊里小学校6年生が1日体験入学を行いました。オリエンテーションでは、校長先生より体験入学の「目的」について話がありました。その中で、この1日体験を通して、中学校での目標を考えて欲しいことが話されました。体験授業は「体育」の授業で、体育館で「マット運動」を行いました。準備運動をした後、開脚や前転などに取り組みました。しっかり体育の先生の話聞いて、てきぱきと動く6年生の姿がとても印象的でした。休憩ののち、生徒会執行部による「中学校説明会」がありました。生徒会長あいさつから始まり、中学校の1日の流れ・行事・きまり・部活動についての説明がありました。この日までに、執行部の生徒は、中学校の生活について、小学生に分かりやすく伝えるようにパワーポイントにまとめました。その後は、3つのグループにわかれて、男女バスケットボール、バドミントン、卓球、吹奏楽部の見学を行いました。最後にまとめをして終了しました。6年生の感想にも「中学校のことがよく分かった。」「わかりやすい説明だった。」など生徒会執行部の説明に関するものや、「勉強をがんばりたい。」「部活動をがんばりたい。」など自分の目標に関するものがあり、6年生にとって有意義な時間が過ごせたようでした。この体験を通して中学校生活に対しての不安が少し解消されたのではないかと思います。6年生のみなさん、4月から一緒にがんばりましょう!!



3年生を送る会

3月13日(木)3時間目に3年生を送る会が行われました。今回は「謎解き」。生徒会執行部が、3年生が楽しめ、思い出に残るような企画を考えてくれました。メンバーは、以前の論語かるた大会のグループ(5人程度)で、音楽室や図書室などの特別教室に仕掛けられた「謎解き」を解いてまわりました。時間が短かったり、謎解きが難しかったりして、謎を解くのに苦労したグ



ループもあったようでしたが、どのグループも、協力して楽しめていたようです。謎解きのあとは、3年生の思い出をスライドショーで振り返りました。3年生も喜んでくれ、3年生の心に残る送る会になりました。企画してくれた生徒会執行部の皆さんありがとうございました。



卒業式

3月14日（金）卒業式が行われました。3年生16名全員が参加しての卒業式。天候にも恵まれ、在校生、教職員、多くの保護者や来賓の方々に見守られ、厳粛に執り行われました。「卒業証書授与」では、担任の先生から呼名があり、校長先生より1人1人に卒業証書が授与されました。式辞では、3年間がんばった3年生に感謝をのべ、次のような論語をはなむけの言葉として送りました。



「子曰く 工、其の事を 善くせんと欲すれば 必ず先ず其の器を研ぐ。」

在校生送辞では、伊里中学校を引っ張ってくれた3年生に感謝し、伝統を引き継ぐこと、日々精進することを誓いました。卒業生答辞では、3年間仲間と協力して歩んできたことを振り返り、まわりの人への感謝の気持ちを伝えてくれました。そして、自分の人生を自分で決めていくことを誓いました。最後に、中学校生活の指針となった次の論語を紹介してくれました。



「人 能く道を弘む。 道 人を弘むるに非らず」

3年生の皆さんご卒業おめでとうございます。3年間よくがんばりました。本当にありがとうございます。伊里中学校のバトンは1・2年生にしっかり引き継がれました。皆さんのこれからの活躍を祈っています。

ボランティア

昨年4月に伊里中学校に着任して1年がたちました。この学校に来て一番感心したことは「ボランティア」です。朝早く学校に来て、草抜きや畑作りをしてくれたり、行事のときには、会場準備や片付けをしてくれたり、地域の行事にも積極的に関わってくれたり、と様々な場面で活躍してくれました。ボランティアをしている生徒を見ると、すがすがしい気分になると共に、誇らしくも感じます。いつも本当にありがとうございます。ボランティアとは、ラテン語の「voluntas」（意志）からきているそうです。意味は「自分の意志で自ら進んでやること」「自発的な意志で、人や社会に貢献すること」です。**～みんなのため、学校のため、地域のために、自ら進んで行動をおこすこと～伊里中学校の生徒1人1人が、そのような意識で行動すれば、さらによい学校になるのではないかと思います。まわりのことを考えて、思いやりのある行動がとれる1人1人になってほしいと思います。**

※この写真の「花いっぱい運動」等は、備前市社会福祉協議会を通じて共同募金より助成を受けて活動しています。



編集後記

保護者の皆様、1年間学校教育に対してご理解とご協力をいただきありがとうございました。生徒たちは、この1年間、保護者や地域の皆様に見守られて成長できたと思います。いつも保護者や地域の皆様が見守ってくれている環境は本当に有り難いことです。来年度も、学校教育に対してご協力頂ければと思います。さて、伊里中学校は来年度よりコミュニティスクール（CS）への移行を考えています。コミュニティスクールとは「学校運営協議会」を設置している学校のことです。「学校評議員会」が「学校運営協議会」にかわります。学校教育について、保護者・地域が協力して進めていく組織です。これからも、今まで以上に学校の「応援団」として伊里中学校を支えて頂ければと思います。来年度もどうぞよろしくお願い致します。